

1. 点検・補修を含めたシカ柵コスト最小化に向けたコスト把握手法の確立

●場所：関東森林管理局管内国有林

●期間：令和4年度～令和6年度

●共同研究機関：森林総合研究所

●概要：シカ柵の情報の収集の仕方を検討・試行し、情報を収集・分析することにより、維持管理コストを含めたシカ柵コストの把握手法を確立します。また、得られた成果や情報を、国有林の取組に活用するとともに民有林関係者に発信し、地域の森林・林業の課題解決に取り組みます。

●取組内容

■シカ柵について、資材種・設置方法ごとの点検にかかる人工数、補修の形態や原因及び補修経費といった維持管理コストにかかる情報の収集の仕方を検討・試行します。

■合わせてシカの生息密度や立地条件、植生等の関連情報を収集します。

■これらの情報を解析し、シカ柵の維持管理経費に影響を与える因子を抽出します。

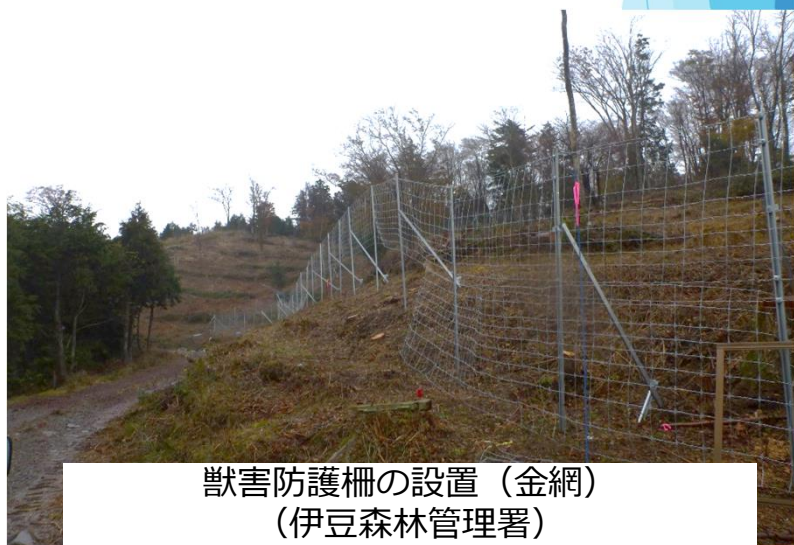
■抽出した因子の値を入力または選択肢を選択することにより、シカ柵設置の検討時に、現地条件に応じたシカ柵の資材種・設置方法の比較検討ができる「シカ柵総経費算出シート（仮称）」を開発し、シカ柵トータルコストを可視化します。



獣害防護柵の設置（ネット）
（伊豆森林管理署）



深刻な食害を受けた苗木
（左：スギ、右：カラマツ）
（群馬森林管理署）



獣害防護柵の設置（金網）
（伊豆森林管理署）